

老朽原発美浜3号の運転に反対して 滋賀県長浜市で戸別訪問  
10月から約3,000戸訪問 避難対象地域の約3割



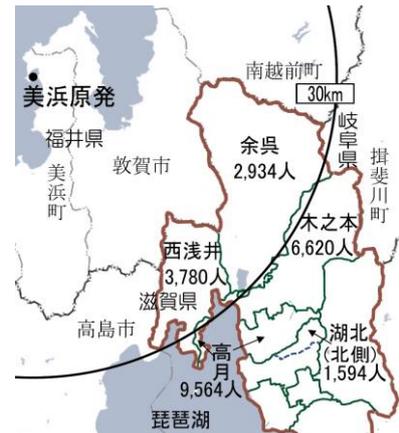
## 長浜市の最北部 余呉町 冬は雪で避難は困難

### \* 11月に3回 長浜市の最北部 余呉町全域で戸別訪問チラシ配布

10月の高月町に続いて、11月12、15、21日の三日間で、長浜市の北部にある余呉町の19自治会区の全戸(約1,200戸、約2,900名)に戸別訪問チラシ配布を行いました。今回は福井・滋賀・京都・兵庫・大阪から延べ26人が参加しました。今回も、余呉町を良く知る「湖北原発ゼロの会」の皆さんに協力してもらいました。

余呉町は2010年に旧伊香郡から長浜市に編入された町ですが、少子高齢化により町立の小学校は統廃合され、中学校とも統合されて、現在は長浜市立余呉小中学校1校になっています。余呉川の清流が山々の緑を映し出す、自然豊かな地区でした。

美浜原発事故時の避難対象地域  
滋賀県長浜市 約24,500名



#### ● 豪雪地帯で避難は困難を極める

余呉町最北の中河内地区には滋賀県が設置しているモニタリングポストがあり、原発が近いことを感じさせられました。「ここは原発に近いから」との声を多く聞きました。一番若い人が70歳という限界集落に近い地域もあり、冬季は豪雪で閉ざされるため、避難がより一層困難な地域であることが想像できました。

#### ● 核ゴミ処分場誘致に反対した町

余呉町では、住民のほとんどが美浜原発事故時の避難区域になっていることを知っていました。また、2005年に持ち上がった使用済み核燃料最終処分場の誘致問題のためか、「原発には反対」とはっきり話す方や「原発は怖い」と話す方も複数おられ、危機意識を持っている方は多いと感じました。また、マネー事件を起こした関電の汚さに憤り、自分たちより原発に相当遠い所に位置する福井県庁の判断で再稼働が認められる理不尽にも憤りを感じている住民もおられました。

#### ● 県内避難先が東近江市と知っている住民はほとんどいない

ところがその一方で、県内避難先が東近江市と知っている方はほぼ皆無で、県外避難先(大阪府岸和田市等)に至っては、地名を聞いてもそこがどこにあるのかさえ知らない方もありました。長浜市が住民に避難計画を知らせてないためです。

#### ◆ 住民の皆さんの声を一部紹介します

- 過去に核のゴミ処分の話があり、当時の記録はすべて保管している。NUMOのこともあり、すべて解決したわけではない。油断できない
- 避難先をご存知ですか?の問いに、近くの小学校、湖北町のどこかなど
- 使用済燃料を処分できないのが一番問題、老朽炉は危ないのはその通りだ

- 冬場は雪が多くて、(国道) 8 号線に出ることも難しい。岐阜の方への道路は工事中で通れない。県庁にも何度も言いに行っているが何も進まない。自分で動けない人も多い限界集落近い状態で、避難なんて無理。うちにも障がいを持った家族がいる。福祉車両は県が用意すると言っているが、足りるわけがない。高島の方が防災の意識が高い
- 原発なんて要らんわ。美浜原発も怖いことだらけ。3つ原発の見学に行ったけど、恐ろしかったわ。ほんまに再稼働なんてやめて欲しい
- 訓練には参加したが、スクリーニングの後の避難先は聞いていない
- スクリーニングとやらをやったりしたが、少人数で、話にならない。原発はないのが一番
- 原発のあるところはお金が出る。ここらは何もないのに不安感だけ背負わされる
- 避難計画は作っている。避難先施設は、市内は決まっている。市外は同一法人と調整することになっているが施設は決まっていない。県外は何も決まっていない(特養施設職員)
- 長浜市はやる気がない。土砂災害危険区域だが、道も無い。目の前の川があふれ、全く逃げ場がないと訴えても、何もしない

#### ◆戸別訪問・チラシ配布から小さな波紋

今回の訪問では、支所の文化ホールにチラシを置いてもらうことができました。また、「これまで原発のことや事故のことを考えたことがなかったが、考えなければと思った。」と話される方や、「こういう話は自治会でしたことがない。避難のことはみんなが知ってかないといけない。風向きの情報も出してほしい。次の自治会の集まりで話し合ってみる」と話す自治会役員の方もありました。きちんと調べて、地元の人に知ってもらいたいとの思いを込めたチラシをもって、実際に足を運ぶことで、小さな波紋が見えてきました。出会ったたくさんの方々には「ご苦労様」と言ってもらえたことも、この活動の励みになりました。



#### \* 12月3日 高月小学校区の配布できていない地区を訪問

雪が来る前に、年内最後の戸別訪問を12月3日に行いました。高月小学校区で配布できていなかった柏原地区(約300戸)と馬上地区(約100戸)です。これで高月小学校区も全て回ることができました。12月に入り寒さが心配でしたが、とてもいい天気でした。

福島原発事故の話をした女性は「原発を動かすのは絶対反対」「道の駅に野菜を出しに行くから、チラシも一緒においてあげる」と。

デイサービス、特養施設、障がい者施設も訪問しました。県等の方針では、事故時には、施設通所者はいったん家に帰ってもらうことになっていると話すと、デイサービスの若い職員は「知りませんでした。でも、それはできない・・・」と困ったような表情でした。特養施設等でも、避難先は具体的に決まっていない様子で、職場で話し合ってくださいとチラシを複数枚渡しました。

戸別訪問は年明けに暖くなってから再開します。ぜひ、ご参加ください。

2021.12.10 避難計画を案ずる関西連絡会

戸別訪問の交通費カンパ歓迎です 振込先 郵便振替 00950-6-308171 美浜の会  
「戸別訪問の交通費カンパ」とご記入ください。よろしくお祈りします。